

## 2 魅力にあふれるまちをめざして

### 2-1 文京区の魅力

#### (1) まちの成り立ち

文京区は台地とその間をぬった平地によって形成され、江戸時代は、主に台地には大名や武家地が、平地には町民の家屋が並んでいました。明治になると、台地の大きな敷地は大学や公共公益施設などの大規模施設用地に転換されたり、住宅地を開発するための用地として活用されたりするようになり、文京区の特徴あるまちが形成されてきました。また、この台地が当時の官員や文化人などの憧れの地となり、山の手として発展し、現在みられるような教育や文化施設の集積地として、また、多くの屋敷町としての形成につながりました。

また、関東大震災では湯島や本郷、後楽などを除き焼失を免れたものの、太平洋戦争では区全体にわたって広く被災しました。しかし、その後、一部地域で戦災復興土地区画整理事業\*が実施されただけであったため、現在に至るまで江戸時代の道が多く残っていることも、特徴の一つとなっています。

図2-1 江戸時代から残る主な道  
(江戸末期の道で現在に至るまで残っている主な道)



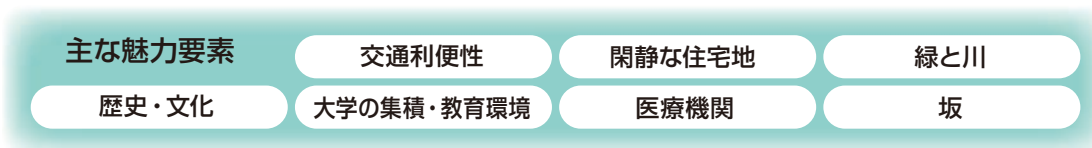
出所:江戸末期の主な道:復元・江戸情報地図(発行所 朝日新聞社/平成6年発行)。地図の作成方法について、「西欧の測量技術導入は明治5年で、近代の実測に基づく江戸市街図はないため、江戸幕府公文書及び明治初期の実測地図等より、安政三年(1856年)の地図を復元し、現在の地図に重ね合わせたもの」である旨が示されています。

## (2) 魅力要素

文京区の魅力の感じ方は人によって異なります。このため、特に区の個性ともいえるべき特徴的な魅力を抽出し、居住者・就業者・来訪者の3者の視点から、どのようなものが魅力要素となっているのかを示します。

### ●居住者の視点

居住者にとっては、交通利便性が高いこと、閑静な住宅地が多いこと、大規模な緑地や庭園、寺社などのオープンスペース\*が数多く存在し、水辺空間としての神田川があること、豊かな歴史・文化的資源があることなどが要素として挙げられます。さらに、大学が集積し教育や医療機関が充実していること、坂が多く起伏に富んだ地形があることなども要素として挙げられます。



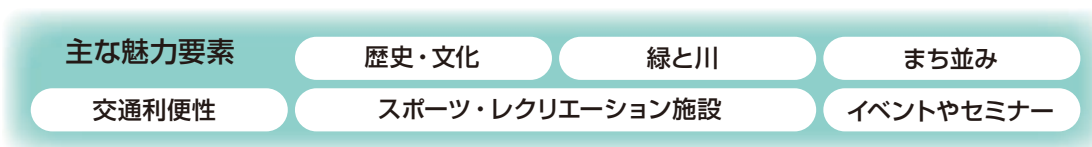
### ●就業者の視点

文京区においては、印刷関連、金融関連、情報通信関連、学校関連などの業務に従事する人が東京都の平均に比べて多いことが特徴となっています（※1）。また、大学が多いことから産学連携の機会に恵まれることが、就業者や事業者にとって重要な要素として挙げられます。さらに、地下鉄などの駅が多く都心へのアクセス\*が良いことや、緑に恵まれた就業環境があることも要素として挙げられます。



### ●来訪者の視点

文京区内には、江戸時代から近世にわたる多くの歴史・文化的資源が分布し、それが豊かな緑や歴史を伝える路地などのまち並みと組み合わせられて、まち歩きを楽しむ多くの来訪者をひきつけています。一方、後楽園駅周辺にはスポーツやレクリエーションを楽しめる施設があり、国内でも有数の場となっています。また、文京シビックセンターや大学などで、イベントやセミナーなどが多く開催されていることも要素として挙げられます。



※1：平成18年事業所・企業統計調査によると、文京区は、従業者ベースの中分類レベルの業種構成比において、東京都の平均より高い上位10業種は順に、印刷・同関連業（4.14倍）、郵便貯金取扱機関、政府関係金融機関（3.84倍）、インターネット附随サービス業（3.11倍）、学校教育（2.95倍）、政治・経済・文化団体（2.47倍）、映像・音声・文字情報制作業（2.40倍）、機械器具卸売業（2.03倍）、精密機械器具製造業（1.80倍）、医療業（1.69倍）、化学工業（1.65倍）となっています。

居住者・就業者・来訪者にとって、文京区の魅力となるそれぞれの要素については、次のようになります。

### ①交通利便性

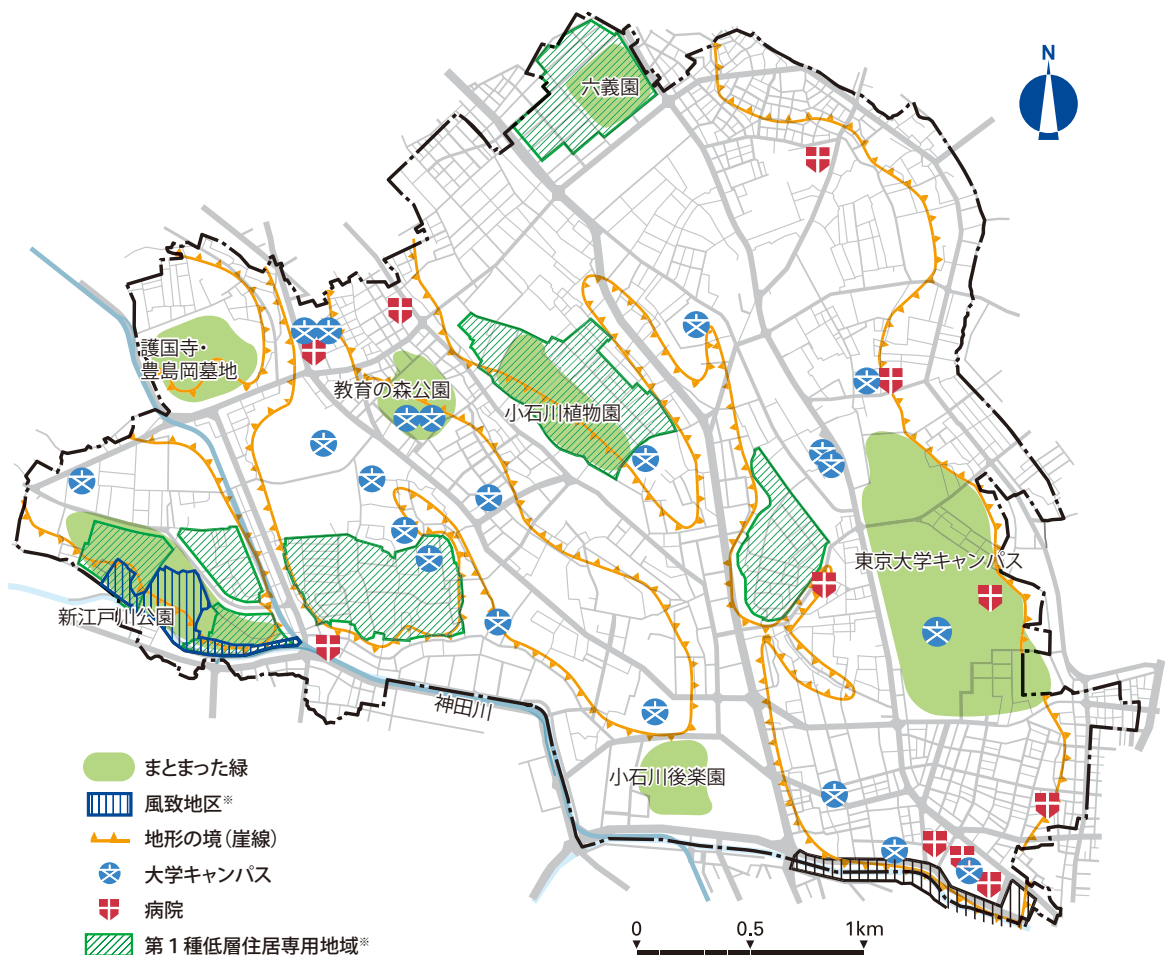
地下鉄は6路線・20駅、バス路線は19系統あり、ほぼ全域が駅とバス停から400m以内にあります。コミュニティバス\*（Bーぐる）が小石川後楽園と六義園を結び、春日に電動アシスト自転車のレンタサイクル\*があるなど、魅力的な交通サービスがあります。

### ②閑静な住宅地

西片一・二丁目、白山四丁目、本駒込六丁目、千石二丁目、小日向一・二丁目、目白台一丁目、関口二・三丁目などに閑静な低層住宅市街地が広がっています。区内全域では住居系の用途地域\*は約6割を占め（※1）、都心に近接しながらも閑静で比較的良好な住宅地を形成しています。

図2-2 主な魅力要素その1

（閑静な低層住宅市街地、まとまった緑、大学の集積、医療機関）



※1：区内の住居系の用途地域は、第1種低層住居専用地域が121.8ha、第1種中高層住居専用地域が334.8ha、第2種中高層住居専用地域が7.8ha、第1種住居地域が180.2ha、第2種住居地域が48.8haあり、合計すると693.4haとなり、区全体面積1,131.0haの61%を占めます。

### ③ 緑と川

小石川後楽園・六義園・小石川植物園・新江戸川公園・教育の森公園・護国寺・東京大学キャンパスなど、歴史的にも由緒ある都会の中のオアシスとなる大規模な緑があります。また、胸突坂や暗闇坂など起伏に富んだ地形により、斜面ならではの見える緑があります。さらに寺社や、住宅市街地を中心に屋敷林が多く視覚的にも緑が豊富です。神田川は、水質が改善されてアユの遡上が見られるようになり、市街地に潤いを与える水辺空間となっています。

### ④ 歴史・文化

旧加賀屋敷御守殿門(赤門)・護国寺本堂・根津神社本殿・旧東京医学校本館など国指定の文化財が19、湯島天満宮表鳥居・徳田秋声旧宅など東京都指定の文化財が30、そして吉祥寺経蔵・千姫墓など区指定の文化財が25あります(※1)。また寺社が多く、まちなかのいたるところに歴史・文化的資源が分布しています。数ある文化的な特徴の中でも際立ったものとして、森鷗外や夏目漱石、樋口一葉などの文人が多く居住し、文学活動を展開したことが挙げられます。また、地域と寺社の結び付きが強いことや、町会名が昔の町名の名残をとどめていることも文化的特徴の一つです。

図2-3 主な魅力要素その2  
(坂、街路樹のある通り、神田川、まち並み)



※1: 主にまち中で見かけることのできる「建造物(重要文化財・有形文化財)」「史跡」「名勝」「旧跡」に限った指定の数です。

## ⑤大学の集積・教育環境

大学が20あり、医科系（5）・理科系（4）・文科系（16）が区内各所に立地しており、優れた研究や技術情報、人材を生み出す環境は、企業に対する良好な立地条件となっています。また、大学の立地は、学生アルバイトなどの労働力の確保を容易にし、地域社会を応援する貴重な人材の提供を可能としています。高等学校は世田谷区に次いで多く集中し、教育環境に恵まれています。

## ⑥医療機関

病院が11あり、人口当たり医師数は千代田区に次いで多くなっています。大規模な大学病院もあり医療環境に恵まれています。

## ⑦坂

文京区内には名のある坂は115あり（※1）、その中には文学作品に登場する坂や地域を特徴づけている名の坂も多くあり（※2）、変化に富む風景をつくっています。

## ⑧まち並み

現在に至るまで江戸時代の道が多く残っており、根津・千駄木や菊坂、白山の界限などには趣のある路地や路地沿いの植栽がみられ、都心に近接しながらも、風情あるまち並みが今なお残っています。また、白山通りなど街路樹の豊かな大通りがあり、播磨坂通りは戦災復興計画の当初の構想（※3）が実現した、数少ない美しい並木道となっています。

## ⑨スポーツ・レクリエーション施設

東京ドーム及び講道館のスポーツ施設や、「東京ドームシティ」の遊園地、ホテル及びスパ（温泉）などを合わせた総合的なレクリエーション施設は、全国的に知名度が高く、多くの人が訪れています。

## ⑩イベントやセミナー

文京シビックセンターや大学では展示・催しもの・公開講座などが開催され、知的な興味を満足させてくれる場や機会が多くあります。また、文京花の五大まつり<sup>\*</sup>の祭事などが開催され、多くの人で賑わっています。

※1：「ぶんきょうの坂道」（文京ふるさと歴史館／昭和55年）によると、文京区内の名のある坂は115あります。

※2：「文京のあゆみ」（文京区教育委員会／平成2年）では、坂名の由来は「道しるべとなる寺社や武家屋敷名」「周辺的环境」「伝承伝説」「坂の地形」「人の名」「坂の上からの景観」などによると整理されています。

※3：関東大震災後、江戸時代以来の東京のまちの大改革が行われ、その一つとして東京を支える広幅員の放射・環状道路網が計画されました。財政面から当初の実現は一部に限られました。環状3号線である播磨坂通りは、当初の計画幅員50mに近い幅員40mで整備されました。

### (3) 文京区の魅力の特徴

文京区には高く評価することができる様々な魅力要素があります。これらの魅力を一つのイメージとして捉えると、次のようになります。

豊かな緑と変化に富んだ地形のなかに  
歴史と文化が香るまち



閑静な低層住宅市街地（本駒込六丁目）



小石川後楽園



東京大学赤門



藪下通り



胸突坂



つつじまつり（根津神社）